編集・発行

感じることができました。 道が人を運び、発展した歴史を 湧きました。人が行き交い、 結ぶ交通の要所だという実感が 山陰と山陽、近畿と中国地方を

鉄







津山の人・物・技術 明日誰かに自慢 22 ろを紹介します

下町内会 (加茂町山下)

開業時の姿を残す駅舎の管理活動が評 令和3年、産業遺産学会 の産業遺産保存功労者表彰を受けた山下 岡山県最北の駅舎を守る 会長の小原広久さん (写真前列左から1 ら町内の皆さんに、 駅舎にまつわる 思い出や今後への思いを聞きました。

線が残っています。

シンボルの転車台

び出していた貨物列車の引き込み

構内には、材木や木炭などを運

年月の重みを感じています。

製のベンチに雑巾がけをしながら、 を残す券売の窓口や黒光りする木 の名残がないのが残念ですが、

転車台が自慢です。 化産業遺産」に選ばれた、 平成21年に経済産業省の 手動の 近代

た。 車台で方向転換して戻っていまし に鳥取から来たラッセル車が、 る冬。かつては、除雪を行うため 大変な作業だったそうです。 雪が70センチメートル近く積も 転車台を雪の中で動かすのは、

駅を再び人の集まる場所に 子どもたちの遊び場でした。 車台でかくれんぼするなど、 置かれた石炭の上を滑ったり、 用済の石炭置き場があり、 蒸気機関車のための給水塔や使 斜面に 転

美作河井駅は、駅周辺だけでな

物見や阿波地域に向かう玄関

因美線美作河井駅本屋(加茂町山下)



眺めていると、津山という地が

因美線、津山線の列車が到着し 駅の4つのホームに、姫新線、

取材で津山駅に行きました。

目的地に向けて出発する風景を

構内の転車 使用 中に埋

こされた

が寂しいです。 地域から遠い存在になっているの ンボルです。 □の役割を果たしてきた地域のシ 利用者が減り、 駅が

では月に2回、8軒の有志が2軒 やホーム待合室の清掃を始め、

組で活動しています。

駅舎の窓枠はサッシになり、

趣 昔 年月の重みを感じる駅舎

駅が無人駅になった頃から駅舎

今

減り、 題を感じています。 乗車前後の利用者の安全面にも課 ることがあります。駅周辺の家が 真つ暗な中、 いる姿を見つけ、心配で声を掛け 最終列車で帰ってきた高校生が 人目が少なくなったことで、 人で迎えを待って 間環境生活課☎32-2051

密着していく方法をみんなで考え 舎を残していくためには、 せない利用者を増やし、大事な駅 ローライフ列車では、 ていくことが大切だと思います。 (が訪れました。 駅にとって欠か 7月に3年ぶりに開催されたス 集まる場所になるよう、地域と たくさんの 、駅が人

> 材。 つぶ

の鉄道の歴史などについて、 浮かぶようでした。産業遺産学 はず。20ページで紹介している かったことにたくさん出会える 会理事長 小西伸彦さんが、地域 に、当時の建物や人の姿が目に 火が撮影できますように! できました。来年もたくさん花 いっぱいに花火を収めることが と教えてくれる人もいて、画面 から撮影場所を決めて現地へ。 初めて。先輩の話や過去の写真 影する機会に恵まれました。 立図書館で講演します。知らな 「ここからだと良く見えるよ」 は阿波・加茂の花火を見るのは 美作河井駅での津山自慢の取 次々と出てくるエピソード

ので、ぜひご参加ください。()) 7月に続き、8月も花火を撮